

大谷 50・50達成

メジャー史上初 51本塁打、51盗塁

【マイアミ共同】米大リーグ、ドジャースの大谷翔平（30）が19日、マイアミで行われたマーリンズ戦で、メジャー史上初の「50本塁打、50盗塁」に到達した。この日は、九回

に3打席連続本塁打となる51号3ランを放った。また、2盗塁を記録し、51盗塁とした。50本塁打はアジア選手初で、ドジャースの球団記録を更新。エンゼルスに在籍した昨年、

アメリカン・リーグで日本勢初の本塁打王を獲得した大谷は、今季はナショナル・リーグの本塁打王争いでトップを走り、2年連続でのタイトル獲得に近づいている。日本選手の

年間50盗塁は2001年のイチロー（マリナーズ）の56盗塁以来2度目。大谷は投打「二刀流」の活躍で21、23年にア・リーグの最優秀選手（MVP）に輝いたが、今季は右肘手術の影響で開幕から指名打者（DH）に専念した。DHの出場のみでMVPを獲得した選手は過去におらず、ナ・リーグで初受賞となれば、両リーグでのMVP選出は史上2人目となる。



米大リーグ、マーリンズ戦の7回、50号2ランを放つドジャース・大谷翔平
19日、マイアミ（共同）

6月から1番打者に定着した大谷はドジャース打線をけん引し、過去5人しかいない「40本塁打、40盗塁」を出場126試合の最速記録で成し遂げた。この2部門でもともに43以上をマークした選手はいなかった。（詳細は21日付朝刊で）